

# 県内経済の動き

## 概況

〔2025年2月～2025年4月の動き〕

### 県内景気は緩やかに回復している

鉱工業生産指数（2月）は2カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（3月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（3月 全店ベース）は5カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（4月）は4カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（3月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（4月 保証対象請負総額）は4カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（3月）は前月比横ばいの1.29倍で、4月の企業倒産は前月比1件増の4件、負債総額は同5億11百万円減の7億35百万円となった。

大型連休を迎え、県内では物価高で近場志向が強まるなか多くの人出がみられた。米国の相互関税の影響は未知数で、県内経済には先行き不透明感が漂う。